

【水彩画クラブ27】卒業後5年目の活動 2017年9月

◇第101回活動:2017年9月11日(月) 午後1時から ヌエック207室

活動開始前に白井さんの近況をお話した。お母様の看病に専念したいと8月14日と9月の活動をお休みされるとのメール送信があったが、その後お母様の状態が落ち着かれたので、10月から出席されるとの連絡があったことを皆にお話した。

内ちゃん先生への開始挨拶後に、各自自宅で作ってきた「塩沢湖畔の洋館」習作作品を、黒板上に並べた。

内ちゃん先生は「皆さん上手くなりましたねー。洋館右側にある針葉樹の色具合は、もう少し淡めに描いたほうが良い。針葉樹の前にある黄色っぽい葉っぱの木は、ドライブラシ技法やマスキング（ダブルマスキングも）を駆使して、奥の方にも木があるように表現した方が良いでしょう」などの画評をもらった。



仕上げてきた自作品

都合により坂本さんが活動に入る前に早退された。

活動が始まって1時間程経過した頃に、金子さんと河原さんが早退された。

5月21日の活動で配布していた「8月・9月の活動予定」で、9月25日(月)の研修室が109号室としていたが、先週5日(火)（今日再確認）に受付窓口で確認した結果、になっています」との回答でした。従って、次回25日活動日の研修室は207号室になっています、とお知らせした。

また、8月にお知らせした「10月・11月の活動予定」で、11月27日(月)の研修室は207号室ですので、訂正をお願いした。

今日と次回25日の活動では、第5回美術展への出展作品にする「自分の風景」を描いていきます。

皆が思い思いの風景を撮影して「自分の風景」とし、水張りしたF8のウォーターフォード水彩紙にデッサンしてきた。

課題となる「自分の風景」写真を黒板上に並べて、描き方や描き順などについて、各自が内ちゃん先生に教えてもらった。



自分の風景『上三依男鹿川の流れ』

1. 白っぽく見えるところにマスキングを施す。

- ① 男鹿川の川原に白く見える石ころ
- ② 正面の林で、光が射して白く見える葉っぱ
- ③ 奥に見える木々や葉っぱ群の境目など

2. マスキングを乾かしてから、黄色や薄めの黄緑色で、葉っぱ群にドライブラシ、技法で擦るように色を塗り直ぐに水筆でぼかしていく。なるべく薄めに色をおいていく。

3. ドライヤーで乾かしてから、写真を見ながら葉っぱの重なっているところ、奥側に見える葉群に色をドライブラシ技法でおいていく。

＜5月の活動で習った『昭和記念公園を歩く』の描き方を参考にする＞

4. 次回（9月25日(月)）の活動予定

今日の「自分の風景」を仕上げていく。

◇第102回活動:2017年9月25日(月) 午後1時から ヌエック207室

活動冒頭に皆に報告したこと

関矢さん 先週16日(土)に電話があり、「腰骨と脊椎の骨密度に異常が見られ、状態を精密検査するために2週間程検査入院するので活動を休みます」との内容でした。検査結果によって治療入院になるようです。

白井さん お母様の状態が落ち着いてきたので、10月から活動に出てきます。第5回美術展の

会計事務を行いますとのことでした。

次回活動で習作予定の課題写真を、A3サイズ2枚で配布された。

内ちゃん先生の説明を受ける。

- ① 山小屋付近で貼り合せると、F10用の写真なのでほぼ正方形になります。
- ② F8サイズの水彩紙に描いていくので、F8の縦幅寸法比率で縦寸法を測って上下を切り詰めて手本にします。
F8サイズの縦横寸法は380×455mmなので、縦寸法は横寸法に対し0.835となる。貼り合せた手本の横寸法が413mmなので、縦寸法は345mmとなる。
縦の上下端から3.5mmずつ切り取って手本として整える。
- ③ 水張りしたウォーターフォード水彩紙にデッサンしてくる。

前回描いた自分の風景『上三依男鹿川の流れ』を仕上げていく。

1. 右手前の川原を描いていく。

- ① 少し大きめの石ころにマスキングを施す。
- ② マスキングインクを十分に乾かしてから、淡めに溶いた焦げ茶色（濃い茶色に暗青色を少なめに混色）を小筆に取り、ドライブラシ技法で擦るように色をおいていき、水筆で直ぐにぼかしていく。
- ③ 塗った絵の具をドライヤーで乾かしてから、石ころの重なり具合を見ながらダブルマスキングしていく。
- ④ 少し黒っぽい焦げ茶色（濃い茶色+②より少し多目に暗青色）を小筆に取り、影をつけるように石ころの下や間に擦るように塗っていく。
- ⑤ 塗った絵の具をドライヤーで乾かしてから、黒い影色をドライブラシ技法で影をつけていく。
影色に紫色を少し混ぜた色を、写真で少し濃い目に見える箇所にドライブラシ技法で擦りながら色をおいていく。

2. 前項1.と同じ描き方で石ころ川原を描いていく。右手前よりは淡い目に色を塗っていく。
川中央部にある大きめの石に、黒っぽい影色で形を描いていく。

3. 川の流れを写真を見ながら白く見えるところに、予め平筆で水を薄めに塗ってから、流れを意識しながらマスキングをしておく。

マスキングインクを十分に乾かしてから、

- ① 対岸の岸边には木々の緑が映っているので、緑の絵の具を薄めに写真を見ながら流れを意識しながら淡い目に塗っていく。
- ② 予め平筆で川全体に水をサーッと塗ってから、水溶きしておいた暗青色や他の青色を平筆に取り、水の流れ具合を意識しながらサーッと塗っていく。
- ③ 塗った絵の具をドライヤーで乾かしてから、川面のマスキングインクをきれいに剥がし取る。
マスキングした跡の周囲を軸に巻いたスポンジで水を付けながら擦ってぼかしておく。
流れの影などに、青っぽい影色で薄く描いていく。

4. 次回（10月9日(月)）の活動予定

次会の活動では、課題写真の山小屋後ろの木々を描いていきます。

準備してくること

- ① 配布された課題写真（A3サイズ2枚）を貼り合せて手本をつくる。
貼り合わせてから縦の寸法を上下を少しカット（夫々3.5mmほど）して整える。
- ② F8のウォーターフォード水彩紙を水張りし、乾いてから16等分線を引き、各マス線の中間点に+印を小さく入れる。
- ③ マス線と中間印を見ながらデッサンする。